

令和7年度第2回芽室町男女共同参画審議会

令和8年2月26日(木)19:00~20:00

庁舎 2 階会議室 7

出席委員(9名)

嶋野会長、伊藤副会長、大塚委員、菅原委員、志村委員、滑川委員、宮西委員、西尾委員、  
若狭委員

欠席委員(1名)

太田委員

事務局

有澤政策推進課長、大石政策調整係長、天野主事

開会

会長

それでは、議題に入る。(1)「芽室町男女共同参画基本計画について」事務局より説明をお願い  
する。

事務局

資料に沿って説明。

会長

今の説明に対し、質問・意見等はないか。

委員

質問・意見なし。

会長

それでは、基本目標1について、評価と理由を順番に発表していただく。

委員

評価 C

依然として、家庭・地域・職場等において、男女の不平等が残っていることを感じるため。  
自分が関わりあるものとしては、今年度も人権教室をほとんどの学校・幼稚園・保育所で行っ  
た。内容としては、いじめのことや命の大切さ、子どもの権利条約についても触れている。

委員

評価 B

男女共同参画の意識づくりの取組が、計画どおり実施されていると思うため。

委員

評価 A

各取組実績欄を見た時に、令和6年度以前と比べて、回数が減ってたりするが、どんどん生徒数等も減少していることを考えると中身が濃くなっていると思うため。

委員

評価 B

資料 P1、具体的な取組項目「④男女共同参画意識を育む子育ての推進」について、子どもが生まれてすぐ色々資料もらうが、利用できる施設などの資料が見つらいため、見やすくしてほしい。

委員

評価 B

幼少期のうちに人権尊重などの意識づくりが大事である。子どもからそういった取組について聞かないため、浸透していないと思う。

委員

評価 A

若年層を見ていると、すでに男女共同参画の意識を持っていると思う。年配者については、理解度のバラつきがかなり大きいと思う。

委員

評価 A

人権擁護の関係で色々な活動をしていると聞かすが、その効果はすばらしいものであり、努力して取り組んでいると思う。結果はまだ見えないが、これからも続けてほしい。活躍に対する評価である。

委員

評価 B

人権教室について先ほど話があり、活動内容を聞くことができよかった。また、資料 P1 具体的な取組項目「②人権擁護の推進」では、令和6年度に「芽室町子どもの権利委員会会議を1回開催」とあり、それ以前まではなかった新たな活動が生まれたということも評価できる。また、町内の飲食店等で、子供たちの職場体験の実施も徐々に増えてきていることも評価できる。

委員

評価 B

計画達成に向けて様々な取組をしているというところを評価した。今の若い子は、男女平等に対する理解は深まっていると思う。しかし、人権の尊重という面で、SNSでの誹謗中傷に気をつけていかないといけない部分も大きい。そのため、そういったSNSでの誹謗中傷についての注意を今までよりもしっかりと伝える機会があったらよい。

【基本目標1評価】

A…3名、B…5名、C…1名

会長

続いて、基本目標2について、評価と理由を順番に発表していただく。

委員

評価 B

男女が共に働きやすい、充実した生活を送るためには、ワークライフバランスを推進していくことが1番重要だと思う。風の子めむろに関わりがあるが、子どもたちの中には親からのDVで、児童相談所に行っている子もいて、そこは気になる部分である。また、女性のための人権なんでも相談所というものも帯広人権擁護委員協議会で開催しているが、そこでもDV被害についての相談が多い。

委員

評価 B

資料P3、施策の方向性「地域社会における男女共同参画の推進」、具体的な取組項目「③生涯学習活動への参加の促進」の取組実績について、R3年度から活動が行われていないものがあるため、もっと子どもたちと地域のコミュニティ活動に関われば良いと思う。

委員

評価 B

資料P3、施策の方向性「地域社会における男女共同参画の推進」の部分が、手薄になっていると思う。「男女共同」となるとまだ手薄な感じが否めない。

委員

評価 C

資料P2、施策の方向性「家庭生活における男女共同参画の推進」、具体的な取組項目「②保育体制の充実と子育て支援体制の整備」について、土日祝日は共働きの親以外はなるべく保育所に預けないで欲しいという決まりがあるが、決まり関係なく預けている親がいることを知っ

ている。保育所の先生に伝えても、先生方からしたら実際に見ているわけでもないため、指摘しにくいというのが現状であり、そういった意見が増えてきたタイミングで、役場から該当者に注意をしてもらえるとよい。

委員

評価 B

5月、9月の農繁期の大型連休中の保育実施、とても助かっている。ぜひ続けてほしい。

委員

評価 A

帯広市に比べて保育体制が充実している。自分は、第7希望で幼稚園が決まった(帯広)が、芽室は近いところで入れるのがメリット。取組活動については、保育の制度は優秀だと思う。

委員

評価 B

先ほども話が出ていたDVの関係。被害を受けていても、声を出せていない人がいることが耳に入ってきている。そういう方たちにどのようにして、救いの手を差し伸べるか。

また、資料P3の施策の内容にあるような「体制整備」「体制整備」などの表現だと、具体的に内容が伝わらない。

委員

評価 A

起業セミナーについて、女性主体の新店舗がオープンしたことから、女性の社会進出がしやすくなっていると思う。また、風の子めむろの人数が増えている。子どもの居場所づくりで良いのではないかと。そして、ファシリテーターが活躍する場もある。養成講座も回を重ねてくれるといい。防災の件は、女性に配慮した備蓄強化もされている。子どもたちにも配慮したなにかがあればいい。飴玉の備蓄など。

委員

評価 B

資料P3、施策の方向性「地域社会における男女共同参画の推進」、具体的な取組項目「③生涯学習活動への参加の促進」について、他の方の意見にもあったが、活動が止まっている。他に、施策の方向性「ワークライフバランスの推進」では、役場の環境整備が進んでいることわかる。社会的にも言われていることのため、取り組みやすいものである。整備を進めるだけでなく、「導入してどうだったか」という成果を外に発信することにより、町内の事業所への刺激になるのではないかと。

【基本目標2評価】

A…2名、B…6名、C…1名

会長

続いて、基本目標3について、評価と理由を順番に発表していただく。

委員

評価 B

みんなが安心して暮らせる環境整備が重要。健(検)診が健康につながる。地道に取り組んでいると思うが、意識がいかない人に対して課題がある。出生率の低下があるが、子育てに対しては配慮がされている。高齢者に対しては、民生委員の研修で認知症の勉強をしたが、これから数も増えてくる。対策を取り入れてほしい。

委員

評価 A

誰もが安心して暮らせてる社会づくりに向けて、各種支援サービスなど充実して行っていると評価できる。健康ポイント制度は、昔、商品券であったが、今はMポイントで行っているのが利用しやすい形で良い。

委員

評価 B

高齢者について、介護が必要になる手前の層に向けたケアを手厚くし、介護予防に繋げていけたら良い。

委員

評価 B

資料P5、具体的な取組項目「④在宅福祉サービスの充実」～「⑦高齢者の機能訓練・介護予防等の推進」に関する話で、祖母が年齢の問題で身体がついてこないことが増えたため、半日、グループホームの体力教室に参加している。楽しんでいるため、週2～3回いけるようにしてあげたい。(現状、週1回)

委員

評価 B

親が介護をする世代で、相談先がわからないと言っている。介護している家族も大変であり、その家族へのケアがあれば良い。

委員

評価 C

施策の方向性や取組内容の種類が多さから評価がしづらい。男女についての話と高齢者についての話があるため、同じ基本目標に入れずに分けた方が見やすくなるのではないか。男女共同参画は、すごく広い話であり、取り組んでいることが多岐にわたっている。

委員

評価 C

母子保健の推進、順調に進んでいると感じる。また、高齢者に対しても思いやりが必要である。町内会の加入率も低い。防災に関しては、町内会に入って知り合いになった方が、助け合うことができる。子育てに関する取組は良いと思う。

委員

1点確認だが、生理用品設置について、R5年度以降はやっていないということか。

事務局

設置はしている。しかし、補充する必要がなく、予算をかけていないということから R5年度以降は、記載がないと思われる。

委員

評価 B

生理用品の設置が続いているなら良かった。設置はしていても、購入する必要がある場所もあるため、無料で設置していることは良いことであり、続けてほしい。また、介護家族のリフレッシュ教室を再開してほしい。そして、自己肯定感を育む授業もすごく良さそうな取組であるため、今後も取り組んでほしい。

委員

評価 B

健(検)診、サービスを受けられる体制が整えられていることは評価できる。健康アプリを進めると予算も計上しているとのことで、興味・関心を高めていけるような取組をこのまま進めてほしいと思う。また、自己肯定感を育む授業や赤ちゃんふれあい体験事業は、対象の幅を広げて進めていけたら良い。

【基本目標3評価】

A…1名、B…6名、C…2名

会長

次に、2. 次期計画策定に向けて、意見を順番に発表していただく。

委員

計画に対して、達成度の点検を行うことで、どのようにアプローチしたら良いかなど、アイデアを出していくことが出来るため、考察していくことが大事である。

委員

男女共同参画の意識形成について、中学生・高校生に対して、DV、ハラスメントなどに関する学習の機会を増やすと良い。若い時からの学習が大事である。また、全世代に対して、イベントを通して男女共同参画の重要性を発信していくことも必要。広報誌の「イマドキ子育て」のページは、記事を読んで、自分も動こうと思ういいきっかけになると思う。他にも、スーパー等でのそういった啓発資料の配布もできると良い。

委員

男女共同参画の意識は、若い人には浸透していると思う。まだ理解できていない層に向けた周知を強めに行けると浸透していくのではないかな。

委員

子育て世代に向けた、娯楽スペースを増やしてほしい。遊ぶところがないと人も流れて行ってしまう。カラオケを増やすだけでも変わってくると思う。

委員

男女共同参画を浸透させていくには、知ってもらうことが大事。PR をどんどんしていかないと伝わらない。

委員

個々の家庭の問題までの対策をするのは困難であると思う。また、男女共同参画は、取組の幅が膨大なため、興味のない層には響きにくいと思う。取組に対して、いい結果が出たものを継続していけると良い。

委員

資料でわかる数字では、利用者が少しずつ増えていたりするため、各担当の活動に敬服する。イベントを行うことで、それを見える化することができていいのでは。何かを展示するよりもイベントをした方が良い。

#### 委員

AIによるフェイク動画等の性被害が拡大していると聞く。時代の変化に敏感、柔軟に対応できる計画を設定していただきたい。また、啓発活動、イベントも企画して行えたら良い。

#### 委員

男女共同参画とは、多岐にわたる分野であり、ぼやっとしがちなもの。町で何かをするにしても、基本のスタンスとして、皆が平等であるという人権があることをまずは考えられると良い。意識を高める施策も大事だが、すべての人に配慮しているかどうかと考えられる人が増えれば、優しい街づくりになると思う。これをうまく文章化してできればいい。

#### 会長

本日の議題は以上となる。

今回は、参考資料として、他自治体の計画も配布されており、なかなか他の町で取り組んでいることを目にするのではないため、すごくいい機会であったと思う。来年度は、第4次計画を策定する年であるため、審議会がないタイミングでも、反映した方がいいものなど意見があれば、事務局まで連絡していただければと思う。

それでは、以上をもって、本日の審議会は終了となる。お疲れ様でした。

(20:00 閉会)